

会 議 記 録

会議名称	令和7年度第2回杉並区健康づくり推進協議会	
日時	令和8年1月28日(水) 午後2時00分～午後3時30分	
場所	杉並保健所 4階運動室	
出席者	委員名	野崎会長、下光副会長、八木委員、真砂委員、中村委員、堤委員、加藤委員、川名委員、松岡委員、石井委員、小森田委員、氏橋委員、中島委員、前山委員、秋山委員、芝山委員、小川委員
	事務局	杉並保健所長、健康推進課長、保健予防課長、保健サービス課長、高円寺・上井草保健センター担当課長、高井戸・和泉保健センター担当課長、健診担当課長、健康推進課健康推進係長、健康推進課保健指導担当係長、健康推進課歯科衛生担当係長、健康推進課健診係長、保健サービス課健康づくり調整担当係長、保健予防課保健指導担当係長
傍聴者数	2名	
配付資料	資料1	令和7年度 杉並区健康づくり表彰 受賞事業所・団体一覧
	資料2-1	LINEアプリを活用した女性の健康相談窓口(まるっとヘルスケア)の事業報告書
	資料2-2	まるっとヘルスケア事業案内チラシ
	資料3	令和7年度 働く世代の健康に関するアンケート調査の集計結果
	資料4	すぎなみ健幸アプリ(なみチャレ)の事業報告書
	資料5	杉並区健康づくり推進条例の規定に基づく目標及び指標
	媒体	2026健康カレンダー
	参考資料	令和7年度杉並区健康づくり推進協議会委員名簿
	冊子	すぎなみ朝ベジごはんメニューコンテスト(2025 優秀作品集)
会議次第	1	開会
	2	あいさつ
	3	報告・協議事項
	(1)	令和7年度健康づくり表彰の結果について
	(2)	LINEアプリを活用した女性の健康相談窓口(まるっとヘルスケア)の事業報告について
	(3)	働く世代の健康に関するアンケート調査の集計結果について
	(4)	すぎなみ健幸アプリ(なみチャレ)の事業報告及び新規登録者数の目標数値について
	(5)	杉並区健康づくり推進条例の規定に基づく目標及び指標について
	4	意見交換
	5	閉会

健康推進課長	<p>(自己紹介・挨拶)</p> <p>第2回の健康づくり推進協議会になりました。2年が委員の任期でございますので、実質今日が最後の協議会となります。来年度は新しい委員でスタートということになります。本当に2年間大変お世話になりました。日頃から杉並区の健康づくり施策に多大なるご支援、ご理解、ご協力を頂きましたことを、この場を借りてお礼申し上げます。</p> <p>昨年度、この協議会では令和7年度に改定した杉並区健康医療計画で多くのご意見等を頂き、改定した計画が1年を迎えようとしております。ヘルスリテラシーの向上、区民の方が一人一人健康づくりを自分事として捉えて実施していくこと、成人期の特に働く世代の健康づくり、女性の健康づくりの推進を重点取組としてこの1年間、計画に基づいて取り組んでまいりました。本日、報告・協議事項の中に、この重点取組の一部ではございますが、取組経過の進捗を皆様にご報告させていただいて、ご意見いただきたいと思っております。また、杉並区健康づくり条例に基づく目標・指標も新たに数字が加わったものがございますので、こちらも中間評価としてご報告させていただきたいと思っております。</p> <p>本日の出席状況と資料の確認を健康推進係長よりご説明させていただきます。</p>
健康推進係長	<p>(自己紹介)。</p> <p>本日の出席状況のご報告をさせていただきます。本日は20名中17名の委員にご出席いただいております。定足数である過半数を満たしていることをご報告させていただきます。</p> <p>なお、条例に基づき開催する審議会となるため、会議記録を作成する都合上、音声を録音させていただきますので、よろしくお願ひします。</p> <p>本日の協議会の流れでございますが、次第に沿いまして報告・協議事項を事務局から説明させていただきます。その内容につきまして皆様からご意見をお伺いさせていただきたいと考えております。その後、健康施策に関する意見交換・情報共有の場を設けさせていただければと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは今後の議事進行を野崎会長にお願ひしたいと思います。</p> <p>野崎会長、よろしくお願ひいたします。</p>
野崎会長	<p>報告・協議事項に移らせていただきたいと思います。お手元の次第に沿って進めさせていただきます。まず、報告・協議事項の1「令和7年度健康づくり表彰の結果について」について事務局からご説明をお願ひいたします。</p>
健康推進課長	<p>資料1「令和7年度杉並区健康づくり表彰受賞 事業所・団体一覧」をご覧ください。</p> <p>10月22日に、この会場で表彰式を行いました。最優秀賞の団体は「蚕糸の森おはよう会」でございます。創立39周年を迎えた団体でございます。</p> <p>事業所部門は、優秀賞で「東京立正中学校・高等学校」、「東京カートグラフィック株式会社」が選ばれました。地域の方とボランティアに従事する学生さんとの地域活動を活発に取り組んでいました。</p> <p>団体部門は、5団体が選ばれております。このときには区長もいらっしゃって、健康づくりを広めていただいている地域の団体の方へねぎらいがあり、日々の活動が区のホームページや冊子に掲載されるということも、受賞団体の皆さんは非常に喜んでおりました。資料1のご報告は以上でございます。</p>

野崎会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいま事務局から説明いただきました件につきまして、委員の皆様方から何かご質問、ご意見があればお伺いしたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>特に質問はないようですので、報告・協議事項の2「LINEアプリを活用した女性の健康相談窓口（まるっとヘルスケア）の事業報告について」事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
健康推進課長	<p>資料2-1と「まるっとヘルスケア」のチラシをご覧ください。</p> <p>LINEアプリを活用した女性の健康相談窓口「まるっとヘルスケア」を令和7年4月から開始いたしました。従来、杉並区は妊活LINEサポート相談を実施してきましたが、不妊や妊活の相談だけではなく、女性の様々なライフステージごとの健康課題に対応できるよう、女性の体・心をまるっと支援していくということで「まるっとヘルスケア」というLINE相談を開始したところでございます。</p> <p>令和7年12月末現在、368人の登録がございます。年齢構成比については、妊活LINEサポート事業のみ実施していたときは、30代・40代の女性の方が多く登録されておりましたが、この「まるっとヘルスケア」は若い方、また働く世代の方、あと更年期等の年齢が高い方など登録者の年齢比は幅広い年代の女性の方に登録いただいております。</p> <p>つぎに相談内容の内訳でございます。</p> <p>「一般的な健康相談」、月経の悩みであるとか、疾患の悩み、あとメンタルヘルスも多くご相談がございます。登録はしていても相談をしていない方もいらっしゃいますので、296件が延べ相談件数となっております。</p> <p>このLINE相談事業は無料で24時間相談可能として運営しておりますが、アンケート調査でも、相談窓口の認知度をみますと、まだまだ十分広まっていないと思っておりますので、今後、様々な機会を捉えて、LINEで気軽に相談できるということをお伝えし、ため込まないで相談できるような仕掛けをたくさんつくっていきたいなと思っております。</p> <p>この事業のご報告は以上でございます。</p>
野崎会長	<p>ありがとうございました。それではただいまの説明につきまして、委員の皆様方からご質問、ご意見等あればお伺いしたいと思います。</p> <p>特に質問はないようですので、次の報告・協議事項に移りたいと思います。</p> <p>3の「働く世代の健康に関するアンケート調査の集計結果について」、4の「すぎなみ健幸アプリの事業報告及び新規登録者数の目標数値について」、5の「杉並区健康づくり推進条例の規定に基づく目標及び指標について」、以上は内容が関係いたしますので、次第の3、4、5について、一括してご説明をお願いしたいと思います。その後、質疑応答としたいと思います。</p>
健康推進課長	<p>資料3をご覧ください。「働く世代の健康に関するアンケート調査」ということで、令和7年度の計画改定をうけて、アンケート調査を始めました。対象者は、特に働く世代として保育施設・障害者施設、高齢者施設に対して、調査を行ったものでございます。後ほど出てくる資料5の指標にも関連している項目が幾つかございますので一括でご説明させていただきます。</p> <p>アンケート結果の2枚目をご覧ください。多くの事業者にお配りした</p>

のですが、回答数は161件で、内訳は資料のとおりです。昨年度は保育施設と障害者施設のみだったのですが、319件の回答がございましたので、半分の回答件数でした。調査結果の概要ですけれども、7ページをご覧ください。重要な指標としている、健康に関する様々な情報を自分で入手し活用する、また健康に資する行動をしていただくという『ヘルスリテラシー』という言葉を知っていますか」というご質問に対しては、29%の方が知っているとお答えいただきました。

同じく7ページに「生活習慣病の予防が認知症の予防にもつながることを知っていますか」というご質問に関しては、70%の方が知っているとお答えいただいております。

次に9ページをご覧ください。後ほどご報告しますが、「健幸アプリすぎなみチャレンジ（なみチャレ）」を、令和7年10月に始めました。こちらの在住・在勤・在学の方でも利用可能で、健康に資する活動につなげていただきたいと思っているものですから、宣伝も兼ねてご質問に入れました。

次に11ページになります。これも指標に出てくるのですけれども、「こころの健康について」、働く世代の方の心の健康についても聞いております。「あなたは最近1カ月間にストレスや悩み、イライラなどを感じたことがありますか」というご質問には、「おおいにある」「多少ある」と答えた方が8割程度に上るということで、ストレスを抱えながら過ごしていらっしゃるのだなということが分かりました。

12ページを見ますと、健康問題なのか、仕事上の悩みなのかということでは、仕事上の悩みが主の悩みであると回答されています。

最後に、男性についても健康に関するご質問をさせていただきました。

男性については33の方に回答いただきましたが、25の方が何らかの健康の課題で悩んでいらっしゃるという回答されています。

そのうち42%の方が、悩みを相談することができないと回答されています。

今年度のアンケート集計は以上でございます。

続いて「健幸アプリ（なみチャレ）」についての事業報告をさせていただきます。資料4をご覧ください。

1月17日現在のご報告となりますが、この「健幸アプリ」については、プロポーザル選定委員会を開催し、10社の中から事業者を選定したものでございます。

席上に配布しました「健幸アプリすぎなみチャレンジ」をご覧ください。このなみチャレですけれども、令和7年10月1日より開始し、ウォーキングをしながら、様々な区のイベントや講座に参加したり、またはお出かけしたりするとポイントがもらえるというもので、ためたポイントを電子マネーやいろいろな電子の商品券に交換でき、楽しみながら健康にもなれるということで、杉並区でもこれをしっかり周知していきたいと思っています。

区報をはじめ、SNSなどでの情報発信や、様々な周知活動を実施しました。12月末現在、6,512名の方が登録しております。最新の速報値では6,820名ということで、1日で多いときに200名増えており、大変好評を頂いているものでございます。

当初、新規登録者数の目標値を設定したのですが、初年度は半年間ということで、18歳以上64歳以下の1%の方が登録していただければと

思い、4,000件という新規登録者数の目標としておりました。

既に目標はクリアしましたので、これまでの実績を踏まえた今後の目標として、7,000人という目標に高く上げて、取組を進めていこうと考えています。

2点目「区内スポット（QRコード読み取りで健康ポイントが獲得できるもの）」ということで、この健幸アプリを使って外出促進も目指しておりますので、区内の各施設にQRコードを置いていただいて、それにアプリで読み込むと、ポイントがもらえるという取組をしております。ゆうゆう館、地域施設、体育施設など複数の箇所に設置しております。これも大変好評なので、もっと増やしてほしいという区民からの要望も頂いておりますので、増やしていく予定でございます。

周知活動でございますけれども、広報、ホームページ、SNS等で周知はさせていただきましたが、口コミとか、いろいろな健康に資する団体の方の何人かが登録されると、良い噂として広まったりであるとか、区民団体の活動の中で、登録される方がすごく増えていると実感しております。

(2)「事業連携」でございますが、これはスマホアプリを利用したデジタルのものになりますので、なかなかデジタル技術に追いつかないとか、アプリを入れるのに時間がかかってしまう方もいらっしゃいますので、高齢者部門、デジタル推進部門とも連携して、デジタル何でも相談窓口を各地域区民センターで、曜日持ち回りで開催しています。また、高齢者の方にはスマートフォン購入助成という取組も11月から始めておまして、初めてスマートフォンを購入する方の支援というものも、同時期に始まっているところです。

最後に資料5になります。こちらは毎度、健康づくり推進協議会で目標・指標は示させていただいているところでございますが、今日ご説明するのは、薄いオレンジ色がついているところが新しく最新値として加わったところですので、そこを中心にご説明させていただきます。

2ページ「自然に健康になれる環境づくりの支援」がございました。

これは新しく「健幸アプリ（なみチャレ）」を指標の1つとして加えさせていただきました。登録者数を指標は記載のとおり、最新値6,512人となります。

4ページ「メタボリックシンドロームの該当者を減らす」ということで、最新の数字である令和6年度の数字でございます。横ばいないし少し改善しているという状況です。

5ページでございます。ここは訂正させてください。目標の「自殺者数を減らす」というところに色がついておりますが、これは14.8ということでお配りしておりますが、14.9となります。82人の方から83人に増えたことが要因でございます。死亡の原因が分からなかったものが分かったということで、厚生労働省の数字を頂きましたので、この場で修正をお願いいたします。

8ページも、先ほどのアンケート調査から取らせていただきました。「生活習慣病予防が認知症予防につながることを知っている者の割合」というのは増えましたけれども、健康問題でストレスを感じている人たちは少し増えたということで、指標が出ております。

最後、11ページでございます。「女性特有の症状等に関する職場の環境が整っていると感じている者の割合」が昨年度に比べてちょっと下がったというところでは、働く女性たちの方が少しでも環境がよくなるよ

	<p>うに我々の働きかけが必要だなというところと、こういった職場の環境の改善というのは健康につながるの、積極的に働きかけをしていきたいと考えているところです。</p> <p>資料5についてのご説明も以上でございます。</p>
野崎会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それではただいま事務局から3、4、5について説明いただきましたけれども、委員の皆様方からご質問等ございましたらお願いいたします。</p>
小川委員	<p>健康についてのITインフラを次々と実現してくださって、本当にうれしい限りです。どうもありがとうございます。</p> <p>今伺って、全体を見て思うのは、女性の健康づくりの推進が本当にはかどって、ありがたい限りです。</p> <p>でも、このアンケートを見たときに、「男性の健康について」をみて、男性の健康問題を相談できていない方がたくさんいらっしゃるのではないかなと思いました。なので、アンケートを次回取るとしたらもっと男性の回答が得られるようなアンケート方式、なみチャレでポイントがもらえるみたいな、なみチャレを使ってアンケートを取る方法もあると思いますので、男性の性格上、自分の健康の悩みとかを相談しにくいと思うので、ぜひ男性の健康づくりの推進という項目もつくってはいかがかかと思つたのです。健康寿命も男性のほうが低いのもあります。</p> <p>なみチャレがせっかくできたので、アプリの利用をとおして、男性の健康問題で相談できていない人をすくい上げて、誰一人取りこぼさない健康づくりを推進していただきたいと思いました。</p>
健康推進課長	<p>大変貴重な意見をありがとうございました。我々もこのアンケートを取るときに、女性の健康づくりの推進は計画にも位置づけ、実現したのですが、LINE相談をご紹介するときに「男性の相談はないのですか」と区民の方から聞かれることや、「男性もご相談事項あるよね」というところで、アンケート項目に新たに加えたということもあるので、男性なりの健康課題はあると思いますので、今後、働く世代は女性も男性も変わらないところですので、研究していきたいと考えております。</p> <p>実際の場面での意見は本当に参考になるので、健幸アプリの登録は女性が多いですけれども、なみチャレを見ても、男性も2,000人ほど登録いただいておりますので、まず健幸アプリをやっている方からアンケート調査をしながら、検討をしていきたいと思つています。</p>
野崎会長	<p>よろしいですか。</p> <p>ほかに質問ある方はおりますでしょうか。</p>
芝山委員	<p>「すぎなみ健幸アプリ（なみチャレ）」は、登録してくれている人が伸びているということで大変うれしく思つています。そして資料4の1ページのところを見ると、年代別で1月15日の速報値が右側のところに入っていますが、70代以降の方が少ないなというか。デジタルデバイド解消事業等や、各地域センターで、そういった取組をされているということなのですが、高齢者が少し置き去りにされかけているのかなと思つています。</p> <p>高齢者にとって、スマホはなかなかなじみが少なく、若者のようにすいすいとアプリを入れてというわけには行きにくい面があります。また、QRコードで読み取ればアプリは入るのですがけれども、なみチャレが稼働するまでにいろいろな操作をしなければいけないというところで課題があるのかなと感じておまして、なみチャレを入れたいけれど</p>

	も入れられないという高齢者に健康推進課や、事業者がもうちょっとうまく働きかけをすると、ますます杉並区の健康寿命が伸びてくるのではないかなと思っています。
健康推進課長	ありがとうございます。我々も高齢者部門とも連携しながら丁寧な説明会も積極的に開催し、しっかりと徐々に高齢者の方も増やしていきたいと思っています。
野崎会長	ほかにいかがでしょうか。 今のご意見は、私も高齢者だから、デジタル技術と言ってもなかなか追いつかないので、おっしゃるとおりだと思います。 いかがでしょうか。はい、どうぞ。
秋山委員	先ほどのなみチャレに続きまして、その関連でご質問なのですが、ポイントがたまって2,000ポイント以上たまると抽選応募を、年内でやられて、今、1月も2回目の抽選を実施していますが、2,000ポイントで申し込んで、抽選で電子マネー等が当たる。外れた場合、その2,000ポイントはどうなるのでしょうか。
健康推進係長	基本的に、行政の予算という制約がある中では抽選ということにさせていただいております。現在は、ほとんどの申し込まれた方の意図や継続性を促していくためには、我々も重々承知しておりますので、予算の範囲の中ではあるのですが、基本的には皆さんに還元できるように、やっていきたいと考えております。 もし外れた場合ということについては、おっしゃるとおり、結局そのポイント自体は失効する形にはなるのですが、外れた方については例えば次回以降必ず当てるとか、そういった形で我々も何かしらやる気を削がない形で、このアプリ自体をやっていければと思っています。
野崎会長	ほかにいかがでしょうか。どうぞ。
堤委員	こういうアプリなんかは必ずダウンロードのときにプライバシーポリシーを読んで同意するとあるのですが、営利団体ではなくて、行政がやっているものなので、プライバシーポリシーというのをもうちょっと分かりやすく皆さんに提示して、個人情報をどう利用するかというのを掲示してダウンロードできるような形にできたらいいのかなと、私は思います。 マイナンバーカードをつくるのは個人情報が漏洩したらと言う割にはアプリのプライバシーポリシーは読まないで、登録する方も多く、プライバシーポリシーのサイトを開かなくても分かりやすく書いて、個人情報をどのように利用しているかということを提示していただきたいなと思います。
健康推進係長	当初、プロポーザルの中で、マイナンバーに紐づけて、健康情報をより正確に明確に収集するといった事業者提案もございましたが、我々としてはマイナンバーとの紐づけをこの健幸アプリでは実施しておりません。また、住所も情報収集しておりません。そういった形で住所を収集していないとか、なるべく個人情報を取らないような形で、新規登録のハードル等に配慮して実施をさせていただいております。 プライバシーポリシーについても、収集したお名前の情報とか、そういったものについては基本的にこのアプリ内のみでの使用ということとさせていただきますので、ここも皆様から様々なご意見とかを伺いながら、より利便性の高く、また使いやすいアプリにしていきたいと考えて

	おります。
野崎会長	<p>ほかにいかがですか。特にございませんか。</p> <p>それでは次に大きい4番の「意見交換」に移りたいと思いますが、意見交換会ということで、1年間所属する会などで栄養、運動、休養に関する活動だけではなくて、交流や地域活性化などに幅広い意味での健康づくり活動を行ったことについて簡単にご紹介をお願いしたいと思います。</p> <p>時間の関係もございますので紹介いただくのは4団体の方にお願いをしたいと思います。</p> <p>中村委員からお願いできますでしょうか。</p>
中村委員	<p>皆さん、こんにちは。薬剤師会の中村でございます。</p> <p>昨年この協議会で申し上げました、昨年10月19日(日)、セッション杉並で毎年「薬と健康の週間」ということで、セッション杉並をお借りして開催したのですが、当日雨になってしまいまして、通常だと100人を超えるぐらいの来場者があるのですが、その半分以下ということで、47名ぐらいだったので、天候や事前のPR不足だったかなということで、このところとしては一番少ない結果になってしまいました。</p> <p>今年は、こちらの保健所を会場として使わせていただけるということで、10月に開催を考えております。</p> <p>このなみチャレというの、こういうふうなときにイベントに加えていただくことができる。またこれでPRを逆に広めていけるのかなと感じております。大変ありがとうございます。</p>
野崎会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>続いて、つくしんぼ会の小森田委員。</p>
小森田委員	<p>特に気をつけて取り組んではないのですが、障害者の子どもたちは、ふれあい運動会とか、ふだんはガイドヘルパーを使ってボーリングに行くとか、そういうことはやっているのですが、特に団体としてというのは、ふれあい運動会が一番大きいかなとは思っています。</p>
野崎会長	<p>よろしいですか。</p> <p>それでは3番目に、商工会議所の氏橋委員。</p>
氏橋委員	<p>商工会議所の氏橋といいます。</p> <p>商工会議所では、当然、会社の代表者の集まりでして、社員たちの健康が会社の健康につながるということで、健康を議題とした話を去年も少し進めましょうということにはなっていたのですが、会長が10月で交替されて、新しい体制になったものですから、本年度また議題として上げていって、各社が健康づくりでどんなことに取り組んでいるかという意見交換を、行っていきたいと思っております。</p>
野崎会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>次に、健康づくりリーダーの会の秋山委員。</p>
秋山委員	<p>それでは、杉並健康づくりリーダーの会としてのご意見を申し上げます。</p> <p>今年度の区民参加型予算のテーマ「健康・ウェルネス」は、私達の会議として最も関心のあるテーマでございました。区民が日常生活の中で気づき、思いつき、こうしたらよくなるのではないかと、区政に意見として提案することは大変によい取組であると思っております。</p> <p>私たちの会員が提案した人は、分っている範囲で5名いました。1人で3件の提案をした人、またワークショップに参加して、区長さんの前</p>

	<p>でプレゼンテーションをした人もおります。</p> <p>提案数は143件ありました。そのうち、区で選ばれた10件のアイデアのうち、最終的に3件が残りました。そのアイデアはどれもすばらしい事業になると思います。予算化し、実現に向けて確実に実施していただくことを期待しております。</p> <p>選出されなかった残りの140件の提案は、再度選出されなかった提案を再認識、吟味していただきまして、内容を整理し、関連業務案を導き出して、組織の縦割りではなく、横との連携を深めていただいて、区政の通常予算内での日常業務の一環として、ぜひとも区民の皆さんの気づき、思い、解決してほしい、改善の声を、活用対応していただくことを強く要望いたします。よろしく願いいたします。</p>
野崎会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>時間の関係もありますので、4名の方にお話を伺いましたけれども、まず事務局から何か追加することはありますか。</p>
健康推進課長	<p>今回の次第に沿ったお話については追加ございませんけれども、皆様の日々の活動を聞かせていただいて、本当にありがとうございます。</p> <p>先ほどご意見いただいたところで少しお伝えさせていただきますと、イベントとか健康に資する取組等を行っている講演会や、イベント等に関しては、外出してもらって、健康になっていただくという取組に、この健幸アプリを使っていただけたらなと思っていますので、そういった場合にはぜひご相談いただけたらと思っています。</p> <p>最後、秋山委員からご提案があった、今年、令和7年度区民参加型予算ということで「健康・ウェルネス」がテーマで、まさしく健康がテーマで取り組んできました。この事業提案に関しては全て所長も目を通してありますし、私どもも拝見させていただいているので、全部廃棄ということではなく、区で取り組んでいきたいなと思うところは、引き続き取り組んでいきますし、そのときに一番感じたのは、実は既に区が取り組んでいるのだけれども、ご提案者の方に伝わっていない事業も数多くあるのだなということでした。</p> <p>先ほどのLINE相談もそうですけれども、やっているのだけれども、必要な方に届いていないということもたくさんあったり、ちょっとしたご提案なり、予算内で加えることでもいい事業になるなというご提案があったりとか、区としてもアピール力をもうちょっとつけて、どんなところで周知すると伝わるのかなと考えさせられました。参考になる提案もたくさんあったので、ぜひ活用できるものは取り組んでいきたいなと考えています。</p>
野崎会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>4名の方からご発表いただきましたけれども、4名の方からのご発言について、事務局に対してでもいいですけれども、何かご意見、ご質問等がありましたらお願いします。</p> <p>特になければ、皆様方から4名の方々に、ご質問なりご意見なりありましたら、お願いします。</p>
小森田委員	<p>つくしんぼの小森田と申します。このアプリを入れていないので、今入れてみようかなと思ったのですが、先ほどの話をお聞きしていて、イベントをやるときに、このアプリに登録しているとポイントがもらえるという話が出たのですけれども、それは例えば、ふれあい運動会をやるとか、そういうときに、運動会の実行委員会の中で提案していった方がいいのか、それとも自然にそういうのは入るのかということですが</p>

	分からないのでお聞きしたいと思います。
健康推進課長	ありがとうございます。実は、皆様のそれぞれの活動というものが、健康とか、ウェルネス、社会貢献活動であるとか、そういった様々な健康に資する取組というのが全て分かっているわけではないので、できればアプリのポイント該当としたいなどの提案をいただけますと大変ありがたいというところがございます。
野崎会長	よろしいですか。ありがとうございました。どうぞ。
小川委員	先ほどからのお話を伺っていると、周知の問題がすごく、どの団体でもこちらでも難しい問題かと思うのです。健康だよりとか、これだけ集まったので、発行するなども一つかなと感じています。しかもこの出来上がっているものを貼り付けるという感じで、それを流すのも大変だというのだったら、なみチャレで「お知らせがあります。近々こういうのがあります」という形でやると、周知の一策にはなるのではないかなと今思いました。以上です。
野崎会長	ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。特にごさいませんようでしたら、下光先生、全体を通じて、まとめていただけますか。
下光副会長	<p>2点ございまして、1つは女性の健康ということで、今、杉並ではいろいろな、この「まるっとヘルスケア」などをはじめ、チャレンジしているということなのですけれども、これは国の健康づくり施策の「健康日本21（第三次）」に、女性を重点的なターゲットとして健康づくりを実施していく流れがあります。それは前の健康づくり施策の第二次のときに、女性に関して、その他の健康指標が悪化しているのです。</p> <p>例えば歩数ですけれども、働き盛りの女性だけがどんどん下がっていく。そして、将来予測もこれからどんどん減っていくだろう。それから運動習慣を持つ人たちも、働き盛りの女性、子育てとか、お仕事とかたくさんあって、運動はできないのだろうと思うのですけれども、これもどんどん減ってきて、また10%ぐらい将来予測で運動する人が減ってくるという、そういう危機的な状況があるということ。</p> <p>それから、平均寿命と健康寿命の差を見ると女性のほうが男性の倍ぐらい長いので、言ってしまうと寝たきりの期間が非常に長いということです。要介護になる人たちも多いとか、あるいは骨折転倒、そういうものが非常にリスクになっているということで、そういうことで杉並区も今回、決して男性をないがしろにしているわけではなくて、女性のそういう問題に対して重点的にやっつけようということ、やっつけようというのではと思いますので、どんどん進めていただければと思います。</p> <p>おっしゃられるように、男性の喫煙率は高いし、それから早く亡くなってしまうとか、様々な健康問題があって、肥満者も男性が多いのですよね。その辺に対してもしっかりと、女性だけではなくて、男性に対してもきちんとやっつけようということが1つございます。</p> <p>それから、この国の健康づくりもそうですし、杉並区の健康づくりもそうなのですけれども、昔は「運動しましょう」「ダイエットしましょう」「お酒を控えましょう」という、個人の努力というか、個人の行動に対していろいろと働きかけを行っていたわけなのですけれども、そういう働きかけだけだと結局いい結果が得られなくて、それぞれのライフスタイルがどんどん悪くなってきているという中で、社会環境というので</p>

	<p>しょうかね。一人一人が、自然に健康になれるような環境をつくっていかうのではないかということで、前の健康づくりに対して、今回の健康づくりは、まず社会環境の整備、それから改善、これをメインにして、その上で個人の健康づくりをやっていかうという、この2段階の健康づくりの施策になってきているのです。</p> <p>社会環境の改善ということなのですが、実は、社会環境とは何かというと、私たちなのですよね。いろいろな健康に関連する団体が、そういうことにみんなで力を合わせて取り組んでいくということが、実は社会環境の整備ということになるわけで、実はこの協議会というのは、これまで以上に大変重要な役割を果たさなければならないということだし、我々もそうやっていかないと、杉並区の健康づくりは進歩しないと思いますので、今回いろいろな団体からいろいろなご意見を頂いたということで、こういう形で、どんどん積極的にこの協議会が活動して、また皆さんが思うことをどんどん積極的に発言していただいて、提案をしていただくということが大変重要になってきていると思いますので、今日の皆さんのご意見はすばらしかったと思いますし、また今後もっと活発に、この協議会が活動をしていけるように期待しているところでございます。</p>
野崎会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、全体を通じて何かご発言がございましたら、お願いをいたします。</p> <p>特にございませんか。</p> <p>それでは、後でご質問等あれば、後日事務局宛てにお願いをいたします。</p> <p>以上で本日の議事は全てでございますが、最後に事務局からご連絡があれば、お願いいたします。</p>
健康推進課長	<p>本日はお忙しい中お集まりいただきまして、どうもありがとうございます。様々なご意見を頂きまして感謝申し上げます。</p> <p>今年度計2回の開催ということで終了となります。また冒頭でもお伝えさせていただきましたが、協議会委員が2年たちますので、次年度の開催は新たな委員となりまして、引き続き委員を続ける方もいらっしゃいますけれども、今年度で終了という方もいらっしゃるかと思います。本当に2年間ありがとうございました。</p> <p>来年度の日程については改めて決まりましたら、新年度の委員の皆様にご案内させていただきますので、よろしく申し上げます。</p> <p>以上で閉会となります。お気をつけてお帰りください。本日はありがとうございました。</p>